記者発表資料

平成２７年５月１２日
真 室 川 町
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所

真室川災害から 40 年〔親から子への伝承〕
～次世代に伝える『防災術』学習を行います～

今年は、真室川町の３分の１が濁流に呑み込まれるなど激甚な災害に見舞われた「真室川災害」から４０年の節目を向かえます。

今般、悲惨な災害の記憶を風化させること無く、後世に伝承していくため、真室川町と当事務所が連携し、「真室川災害から４０年」企画の取り組みとして、真室川小学校３年生、４年生を対象に災害体験談学習を実施します。

また、今後も出前講座、被災箇所・対策施設見学を行い、学習成果として学校新聞にとりまとめるなど各種取り組みを実施します。

※今後の災害学習は別紙の予定で実施します。

記

１．実施日時　　平成２７年５月１４日（木）１４：５０－１５：３５
２．実施場所　　真室川町立真室川小学校
３．実施内容　　『記録ビデオの上映』『災害体験者の体験談を聞く』
※記録ビデオは、新たに「写真や映像」を収集し制作したものを放映予定。

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会＞

＜問い合わせ先＞

■真室川町役場
総務課（総務･危機管理担当）　主査　新田（にった）　寿昭（としあき）　（TEL 0233-62-2111）

■国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
鮭川出張所長　鈴木（すずき）　雄次（ゆうじ）　（TEL 0233-55-3020）
建設監督官　土岐（とき）　範彦（のりひこ）　（TEL 0233-22-0256）

【別紙】

災害に関する言い伝えからの防災術

（親から子への伝承）
～真室川災害から４０年～

企画	テーマ	概要	対象学年	実施時期
①	授業での真室川災害に関する学習	・記録ビデオの上映 ・真室川災害体験者との座談会	３年生 ４年生	５月１４日（木） 14:50～15:35
②	国土交通省職員による出前授業	・記録ビデオの上映 ・講座、災害と対策について ・真室川災害体験者との座談会	５年生	６月１８日（木） 14:00～15:30
③	被災箇所や記念碑、遺構等の現地見学	・被災箇所等（河川氾濫、土砂災害）の見学	４年生	６月２５日（木） 14:00～15:30
④	対策施設や防災施設の現地見学	・堤防、樋門、真室川防災ステーション見学 ・砂防ダム、地すべり対策工見学	６年生	７月　２日（木） 14:00～15:30
⑤	学校新聞の作成	・企画①③についての新聞作成 ・真室川町主催の学校新聞コンクールへの応募	４年生	９月～１０月

昭和 50 年真室川災害の概要

１．気象
８月５日から６日にかけて、オホーツク海にある低気圧から伸びる寒冷前線が三陸沖から関東南部にまで達した。このため、東北地方の日本海側では、各地で雷雨を伴った豪雨に見舞われた。特に最上川支川鮭川上流域が集中豪雨の雨域の中心であった。（大滝３３３mm）

２．被害
被害は鮭川流域に集中し、流域の中心である真室川町は一瞬のうちに３分の１の町が濁流に呑まれ、死者４人、負傷者２４人、行方不明者１人をはじめ、家屋全壊５３戸、半壊６２戸、床上浸水３３１戸、床下浸水４５７戸に及んだ。





真室川町大滝地区
（臨時停車の列車を土石気流が襲う）



真室川町新栄町（真室川町役場屋上から）

真室川災害の概要は下記を参照してください。
http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/01_bousai/pdf/mamurogawa/mamurogawasaigais500806gaiyou.pdf